

7/11
[土]

まちづくりについて
ざっくばらんに語りあおう！

イオンモール東浦にて、高浜市、東浦町、長久手市の3人の首長がプレゼンターとなり「ざっくばらんなカフェ」が開催されました。

吉岡市長からは市民映画「タカハマ物語」製作に込められた想いなど、それぞれの首長から「失敗してもよい。市民とともに遠回りしてもよい。長いスパンで考えていこう。」といったまちづくりに対する想いが語られました。

後半には、まちづくりに関わることの大切さやそのきっかけ・仕組みについて、参加者同士の意見交換が行われ、市域を超え、年齢や職業、さまざまな立場の方々が自由に集まり、「ざっくばらん」に話しあうことにより、今まで気づかなかった新たな発見につながったのではないのでしょうか。



7/31
[金]

市役所本庁舎整備事業説明会

整備のコンセプトは「質の高い市民サービスを提供する庁舎」「高浜市の未来を考えるまちづくり拠点庁舎」「市民の安全・安心を支える防災拠点庁舎」。

これまでの事業経緯、計画概要、11月から始まる工事のスケジュールなどについて説明しました。

8/6
[木]

講演会「高浜市は認知症予防に
どう取り組むか」



今や65歳以上高齢者の約4人に1人が認知症または予備軍といわれています。そこで、認知症予防研究の第一人者である、国立長寿医療研究センターの島田裕之先生をお迎えし、認知症予防と、今後、市が進める取組みについて、話していただきました。

先生からは「研究は年々進んではいますが、まだ完全予防は難しい状態です。しかし、発症を遅らせることは可能。そのためには、日々の健康習慣が大切です。例えば、週3回以上運動をする。車で出かけていた買い物を、歩いて行くようにするといったことでいいですよ。また家に閉じこもらず外出する、何か活動をする 것도大切です。認知症は他人事ではありません。脳や筋肉は、加齢とともに年間1%ずつ失われていきます。まずは、9月から始まる『脳とからだの健康チェック』を受けてください。認知症のリスクを早期に発見することができます。傾向がわかれば、対策も立てられます。早期発見によって31~44%の方が正常に回復します。」との話が聞かれました。



▲「3の倍数のときに足を前に!」「ん?、あれ?」

脳とからだの
健康チェック2015

記憶力・注意力・処理能力などをゲーム感覚でチェックするほか、筋肉の状態や脂肪量などを計測。「からだの健康度」「脳の健康度」などの結果報告書が後日届きます。
問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871